

## 三浦綾子の『氷点』を精読する レジюме

モーゼの十戒（プロテスタント）

エジプト出発の後にモーゼがシナイ山にて、神より授かったと記されている。

- 1.主が唯一の神であること
- 2.偶像を作ってはならないこと（偶像崇拜の禁止）
- 3.神の名をみだりに唱えてはならないこと
- 4.安息日を守ること
- 5.父母を敬うこと
- 6.殺人をしてはいけないこと（汝、殺す無かれ）
- 7.姦淫をしてはいけないこと
- 8.盗んではいけないこと
- 9.偽証してはいけないこと
- 10.隣人の家をむさぼってはいけないこと

（以上 ウィキペディアより）

### 『最後の審判』について

キリスト教では、世界の終わりにイエス・キリストが再臨し、あらゆる死者をよみがえらせて裁きを行い、永遠の生命を与えられる者と死ぬ者に分けるといふ。

### 『原罪』について

イエスは、ユダヤ教の律法を守れない庶民に、神の信仰と隣人愛こそが重要だと説いた。  
（イエスは律法の廃止のために来たのではなく、成就のために来た。 マルコ福音書第五章）

### パウロの回心

ユダヤ教徒であったパウロは回心しキリスト教に改宗。

「人の義とされるのは、律法の行いによるのではなく、信仰による」

（ローマ人への手紙 3:28）

パウロは、律法の遵守を全否定した。

旧約聖書『創世記』のアダムとイブは禁断の実を食べたためにエデンの園から追放された。

その時、神から人間に、『原罪』として、

善悪の基準として『理性＝言語』と『欲望＝本能』が与えられた。(創世記 第三章)

人間には神から与えられた原罪がある。つまり不完全な存在である。必ず罪を犯してしまう。

『原罪』のある人間には、十戒や律法を守れるわけがない。

内面の善悪と、現実世界の善悪は、常にズレている。

人は自分が原罪を背負った存在だと自覚すると、自分の力だけでは救われないことを痛感する。

だからそこではじめて、神を心の底から信じるようになる。

人間は、信仰によってのみ救われる。

なぜ、信じさえすれば、神は罪深き人間を救ってくださるのか。

それは、イエス・キリストは、十字架の上で死ぬことによって、

本来、人間の背負っているアダムとイブ以来の『原罪』を贖（あがな）ってくださったからだ。

これによって、人間は神の恩恵によって救われるようになった。

改悛や懺悔・告解が重要なのは、罪悪感を認めた人間が、正直に告白することが

心のなかの善悪の基準を明らかにして、信仰を確認する作業であるからである。

イエスの贖罪によって人間の原罪が解除されたとするなら、信仰すら意味が無いのではないか？

原罪がなく、黙っていても救われるのなら、どうして信仰しなければならないのか？

参考文献 小室直樹著 『日本人のためのイスラム言論』 集英社インターナショナル刊

## 『汝の敵を愛せ』について

### 新約聖書 マタイ福音書 第五章

43. (モーセが)『隣り人を愛し、敵を憎め』と言われていたことは、あなたがたの聞いているところである。
44. しかし、わたしはあなたがたに言う。敵を愛し、迫害する者のために祈れ。
45. こうして、天にいますあなたがたの父の子となるためである。天の父は、悪い者の上にも良い者の上にも、太陽をのぼらせ、正しい者にも正しくない者にも、雨を降らして下さるからである。
46. あなたがたが自分を愛する者を愛したからとて、なんの報いがあるのか。そのようなことは取税人でもするではないか。
47. 兄弟だけにあいさつをしたからとて、なんのすぐれた事をしているだろうか。そのようなことは異邦人でもしているではないか。
48. それだから、あなたがたの天の父が完全であられるように、あなたがたも完全な者となりなさい。

### 新約聖書 ルカ福音書 第六章

27. しかし、聞いているあなたがたに言う。敵を愛し、憎む者に親切にせよ。
28. のろう者を祝福し、はずかしめる者のために祈れ。
29. あなたの頬(ほお)を打つ者にはほかの頬をも向けてやり、あなたの上着を奪い取る者には下着をも拒むな。
30. あなたに求める者には与えてやり、あなたの持ち物を奪う者からは取りもどそうとするな。
31. 人々にしてほしいと、あなたがたの望むことを、人々にもそのとおりにせよ。
32. 自分を愛してくれる者を愛したからとて、どれほどの手柄になろうか。罪人(つみびと)でさえ、自分を愛してくれる者を愛している。
33. 自分によくしてくれる者によくしたとて、どれほどの手柄になろうか。罪人でさえ、それくらいの事はしている。
34. また返してもらおうつもりで貸したとて、どれほどの手柄になろうか。罪人でも、同じだけのものを返してもらおうとして、仲間に貸すのである。
35. しかし、あなたがたは、敵を愛し、人によくしてやり、また何も当てにしないで貸してやれ。そうすれば受ける報いは大きく、あなたがたはいと高き者の子となるであろう。いと高き者は、恩を知らぬ者にも悪人にも、なさけ深いからである。

## ★辻口啓造にとって『敵』とは誰のことだったのか？ 陽子？